基本事件：平成・令和　　年（家）第　　　　　号　　被後見人等　　　　　　　　　　　様

水戸家庭裁判所　　　　　　　　御中

**後見等事務計画・報告書**

令和　　年　　月　　日

報告者（後見人等）　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　 〒　　　－

住所

電話番号

　　　　携帯電話番号

**被後見人等の生活状況等について**

**※被後見人等＝　以下，「ご本人」といいます。**

**１　前回報告時からご本人の住所，入院先又は入所先に変更はありましたか。**

□　前回報告時と同じ

　□　変更があった。

　　□　住所 　℡

□　入院先又は入所先の名称

　その所在地 　　℡

　　 その時期　平成・令和　　　年　　　月　　　日

　　※　住民票の異動をしている場合は，異動後の住民票写し（マイナンバーの記載がない　　　もの）を提出してください。

**２　ご本人の現在の心身の状況はいかがでしょうか。特に，前回報告後（１回目の報告の場合は申立後）に何か変化はありましたか。**

□　ない。

　□　ある（その内容をお書きください。）。

**３　現在，ご本人の療養，身上監護について，特に困っている点はありますか。**

□　ない。

□　ある（その内容をお書きください。）。

**４　申立ての直接の動機とされていた件（例えば，施設入所，保険金の受領，不動産の処分，遺産分割など）については，どうなりましたか（既に解決しており，家庭裁判所にも書面で報告済みであれば記載不要です。）。**

**ご本人の財産状況について**

**（※次の５項については，成年後見人，財産管理に関する代理権を付与されている保佐人又は補助人の方のみお答えください。）**

**５　ご本人の財産についてお聞きします。**

**(1) 前回報告時からのご本人の財産（預貯金額等）の変動（１回目の報告の場合は申立時からの財産の変動）などを確認し，その結果を別紙「財産目録」に記入してください。また，各財産について，次の資料を添付してください。**

□　預貯金がある。

　　　　すべての預貯金について，前回報告時以降（１回目以降の報告の場合は申立時以降）の通帳，証書等のコピー（通帳は，表紙と表紙裏の見返し部分も必要です。）

　　□　有価証券類がある。

　　　　報告書作成時の評価額がわかる資料（証券会社作成の取引報告書等）のコピー

　　□　不動産がある。

　　　　報告日直近の不動産登記簿謄本及び固定資産評価証明書（２回目以降の報告の場合は，報告対象期間中に売却，担保権設定等，管理状況に変動があれば添付する。）

**(2)　上記(1)の「財産目録」にある資産を今後どのように管理していきますか。**

**できるだけ具体的に記入してください。**

□　現状を維持する。

□　以下のように変わった（変えた）。

□ 近いうちに以下のように変わる予定がある。

**（※次の６項については，成年後見人，財産管理に関する代理権を付与されている保佐人又は補助人の方のみお答えください。）**

**６　ご本人の収支状況についてお聞きします。**

**(1)　定期的な収入，支出について**

**ア　後見人等になってから初めての報告の場合**

**後見人等に選任された日から遡って１年間の収支状況を調査し，その結果から，今後予想される収支額の見込みを１か月分に引き直して計算し「収支報告書」に記入のうえ提出してください。**

**イ　２回目以降の報告の場合**

**報告対象期間中の収支状況を調査し，その結果を１か月分に引き直して計算した額を「収支報告書」に記入のうえ提出してください（収支状況が，既に報告済**

**みの内容から全く変動がない場合は，｢収支報告書」の提出を省略することができます。その場合は，次の□にレ点を付してください→□収支変動なし）。**

**(2)　今後，ご本人について，１回につき１０万円を超えるような臨時収入又は臨時支出を予定していますか。**

□　予定していない。

□　予定している。

（その内容と金額を具体的に記入してください。また，これらを確認できる資料の写しを添付してください。）

**(3)　後見人等に選任されてから（２回目以降の報告の場合は報告対象期間中），１回につき１０万円を超えるような臨時収入又は臨時支出がありましたか。**

□　ない。

□　ある。

（その内容と金額を具体的に記入してください。また，これらを確認できる資料の

写しを添付してください。）

**(4)　後見人等に選任されてから（２回目以降の報告の場合は報告対象期間中），ご本人の財産から，ご本人以外の方（ご本人の配偶者，ご親族，後見人自身を含みます。）の利益となるような支出をしたことがありますか。**

□　ない。

□　ある。

（誰のために，いくらを，どのような目的で支出しましたか。具体的に記入してく ださい。また，これらを確認できる資料の写しを添付してください。）

**(5)　後見人等に選任されてから（２回目以降の報告の場合は報告対象期間中），ご本人が得た金銭（定期収入，臨時収入のすべてを含む。）は，全額，今回コピーを提出した通帳に入金されていますか。**

□　はい。

□　いいえ。

（「いいえ」と答えた場合，入金されていないお金はいくらで，現在どのように管理していますか。また入金されていないのはなぜですか。具体的に記入してください。）

**（※次の７項については，保佐人又は同意権を付与された補助人の方のみお答えください。）**

**７　保佐人又は補助人として，ご本人のしたことに同意したり，取り消したりしたことはありますか。**

　　□　ない。

　　□　ある（その内容を詳しく記入してください。）。

**※　その他，家庭裁判所への連絡事項等があれば，後見等開始時に送付している連絡票を用いるなどして，送付又はファクシミリ送信してください。**